NVAニュース

No. 3 8 8 2021.12.1 発行

一般財団法人長野県バレーボール協会 発行責任者 村上 里志

〒399-0714 長野県塩尻市広堀ノ内 2-2 TEL: 0263-87-7927 FAX: 0263-87-7928

春の高校バレー 第74回全日本高等学校選手権大会 長野県代表決定戦

女子は東京都市大塩尻が4連覇 男子は岡谷工業が激戦を制する

【長水協会理事長 竹内 護】

今年度は、11 月 21 日 (日)・23 日 (火・祝)の変則的な日程となってしまいましたが、一次ラウンドを勝ち抜いた男女ベスト8計16チームが集結。第74回全日本高等学校選手権大会(春の高校バレー)への出場権をかけた熱戦が、長野市ホワイトリングにて繰り広げられました。





新型コロナウイルスの感染状況対応が落ち着いていた時期とはいえ、高校生役員の派遣には厳しい意見があり、これは最小限に抑えました。人員不足が心配されましたが北信地区各協会の協力を得ることができ、無事運営することが出来ました。

今大会は、久々に有観客で開催できることとなり、決勝戦では1,300人程の一般入場者がありました。声を出すことの出来ない状況ではありましたが、拍手などで会場は大いに盛り上がり、選手もやりがいがあったことと思います。もちろん、健康チェック表の提出、各所での消毒薬設置、選手・役員・応援・観客それぞれのゾーニングも行う等、感染症対策も抜かりなく準備させて頂ました。

さて試合の方ですが、女子はシード校が順当に勝ちあがり、松商学園高校 vs 東京都市大塩尻高校の代表決定戦となりました。第69回・70回大会を連覇している松商学園ですが、71回大会から都市大塩尻に屈しています。今大会では、主将北原の強打を軸に粘りを見せ、第3セットは終盤までリードする展開となりました。これに対して都市大塩尻は、セッター藤森の巧みなトスワークから両サイドの強打が好調で、安定した得点力を発揮してストレート勝ち。大会4連覇を達成しました。

男子は、準々決勝戦の長野日大高校 vs 松商学園高校と長野工業高校 vs 東海大諏訪高校の2試合がフルセットとなり、2年生チームの健闘が光りました。また第2シード松本国際高校が創造学園高校時代から継続中の連覇を9回に伸ばすことができるか注目される中、第1シードの岡谷工業高校と共に全試合ストレート勝ちで決勝戦まで勝ち上がりました。

強豪同士の激突は、各セット一進一退の攻防が繰り返され、見応えのあうゲームとなりましたが、リベロの水野を中心とした守備力に勝る岡谷工業が3-1で激戦を制し、15年ぶり29回目の優勝を飾りました。

代表となった両チームの選手権大会(春の高校バレー)での大活躍を期待します。

以下に男女代表チーム代表者のコメントを記載します。

夢の舞台 ~春の高校バレー出場の決意~

【岡谷工業高等学校男子バレーボール部主将 石坂 朋也】

僕たちは、15年振りの春高出場を決めました。昨年の春高長野県大会決勝でフルセット負けという悔しい思いをしたメンバーが残ってスタートしたチームです。どんなことがあっても、来年の元旦は現役として迎えようと強い思いを持って、『「一以貫之」 真の覇者~日本一への挑戦~』のスローガンの下、1年間やってきました。

僕たちが大好きなバレーボールを本気でできているのは、支えてくれる家族・仲間がいるからです。試合に出られなくても全力でサポートしてくれる仲間、肩が痛くなるまでボール出しをしてくれる仲間がいることを忘れずに、感謝の気持ちを忘れずプレーします。

夏、夢のインターハイで自分達の力不足を痛感し、全国の頂点に立つことがどれだけ厳しいものなのか肌で感じました。3年間の思いと、インターハイの敗戦の悔しさを全てぶつけて、長野県代表として恥のない試合をしてきます。

最高の仲間とプレーできる最後の大会。悔いの残らぬよう全力でプレーし日本一になってきます。

第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会に向けて

【東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部主将 藤澤 歩夢】

私たちの目標は「日本一」です。その目標を達成するために、代表決定戦は「圧勝」を目標にして戦いました。また、今大会は「勢い」・「明るさ」をテーマとし、初戦から全員で楽しくプレーすることができました。特に決勝戦では、多くの方々が会場に足を運んで下さり、たくさんの応援が力になりました。結果として優勝することができ、全国大会への切符を手に入れることができましたが、課題も多く残りました。今大会で確認した課題を残り一カ月で修正し、チームとしてさらにレベルアップしていきたいと思います。全国大会では、長野県の代表としての自覚と責任を持ち、堂々と戦いまず。また、都市大のシンクロバレーを展開して、インターハイで負けた悔しさや今までやってきたことの全てをぶつけて、先生方、保護者の方々、仲間への感謝の気持ちを忘れずに思いきりプレーして、「日本一」を勝ち取ります。

令和3年度 収支会計 中間監査を実施



【県総務委員長 赤間善浩】

11月18日(水)、協会の会計事務について、鈴木正弘監事、脇坂清志監事による中間監査を実施し、上半期分の帳簿等の確認を行いました。今年度もコロナの影響により、中止になった大会がありました。会計事務については、特に指摘事項はなく、中間監査を終了しました。

公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ 1 養成講習会を開催

【県指導普及委員 桑原康秀】

11月13日(土)、27日(土)、28日(日)の3日間、大町市において標記講習会を実施しました。 座学は受講者の倍以上の定員の会場を使用し、 入り口では検温・消毒などの新型コロナウイルス 感染症防止対策を十分に施して行いました。

13 日の開校式に続き、県内で活躍をされております有資格者の皆様を講師に、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。





今年度は、小学生の指導者からVリーグの選手、スタッフまでと広い範囲から 40 名の方が受講されました。全員専門科目を修了し、共通科目の結果とあわせて令和4年 10 月にコーチ1として認定されます。

講師の先生方、受講生やスタッフの皆様には 感染症対策に御協力頂き感謝申し上げます。

JOCジュニアオリンピックカップ 第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

北信越連盟主催の北信越強化練習会が2年振りに開催される

【県強化委員 木下久資】

昨年度はコロナウイルス感染症の感染拡大によって中止になった標記大会が、今年度は無観客ながらも開催されることに決まりました。それに伴い、北信越連盟主催の北信越強化練習会も、泊を伴わない1日のみの開催という条件で、11月14日(日)に富山県で開催されました。11月初旬過ぎから各県共、感染者数が大きく減少している状況ではありましたが、会場となった男子の魚津市ありそドーム、女子の南砺市井波社会体育館への入館者には全て健康チェックシートの提出を義務付ける等、感染症対策も充分に施しての開催でした。

以下、この練習会に関わっての男女監督コメントです。

[長野県中学男子選抜チーム監督 山岡航太郎(安曇野市立三郷中学校)]

今回の北信越5県対抗戦については、このコロナ禍で様々な制約のある中、開催して頂きました富山県の先生 方に感謝致します。本当に有り難う御座いました。

長野県選抜男子チームは例年より結成時期が遅かったものの、県内高校生・指導者の皆様や保護者の御理解と 御協力によりここまで活動してくることが出来ました。今年度は県外中学生との練習ゲームがなかなか組めない 中で、この北信越強化練習会は長野県選抜チームにとって大変貴重な機会でありました。

様々な経験の少ない中学生にとっては、他県に移動し、ユニフォームを着て観客のいる中で試合をすることは かなりのプレッシャーとなったのか、初戦の福井選抜戦からかなり緊張して自分達の思うようなプレーがなかな か出来ませんでした。その後も波に乗れず、結果全8セット中1勝7敗という結果に終わりました。

今回、終始自分たちの思うようなプレーや試合運びは出来ませんでしたが、今回の強化練習会で学んだことや 感じたことを今後の活動に活かしていきたいと思います。有り難う御座いました。

[長野県中学女子選抜チーム監督 中村幸博(長野市立川中島中学校)]

選抜チームを結成して約2ヶ月が経ちました。選手達は、コロナ禍の制限される日々の中でも「日本一」という目標に向かって、いい雰囲気を作りながら、常に前向きな姿勢で練習に取り組むことができています。日々、着実にステップアップしている印象です。

今回の練習会では、攻撃面で如何に決定力を上げるかが大きな課題として見えた訳ですが、今後はチームとしてのスキルを上げることは勿論、12人の選手全員の個々の良さを試合の中で最大限発揮できるチームになるよう、スタッフー丸となって全力でサポートしていきます。

本大会まで約1ヶ月、個人やチームとしての課題はまだまだ多いですが、「本物は続く」「続けば本物になる」の精神を胸に「日本一」を掴みます。

令和3年度 ミズ/杯第20回6人制長野県クラブバレーボール選手権大会

2年振りの大会を Nagano Spirits が男女アベック優勝を飾る!

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

11月21日(日)に安曇野市において標記大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてるとは言え、県協会のマニュアルに従って感染症対策を充分に施し、選手やスタッフ、観客の皆様の御理解と御協力を頂いた上で開催しました。

クラブ連盟主催としては約2年振りの大会となり、ブランクの中、どれほどの参加チームがあるか不安を感じておりましたが、男子8チーム(うちMRS未登録チーム1)、女子3チームの参加を頂きました。

約2年のコロナ禍の中、思うような練習ができなかったとは思えないような、どのチームもレベルの高い試合 展開となりました。

試合結果は Nagano. Spirits が男女アベック優勝を飾りました。

コート準備から片付けまで、参加全チームが率先して行い、クラブチームらしい良い大会になったと感じた1日でした。





11月試合結果

◆ 2021-22 V. LEAGUE Division1 MEN(11/5-6 VC 長野) https://www.vleague.jp/form/a/26729 https://www.vleague.jp/form/a/26730

◆ 2021-22 V.LEAGUE Division1 MEN (11/13-14 VC 長野)

https://www.vleague.jp/form/a/26741 https://www.vleague.jp/form/a/26742

◆ ミズノ杯第 20 回長野県クラブ選手権大会 http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2021siaikeka/R3.11.21_MIZUNOcup.pdf

◆ 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 県代表決定戦 http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2021siaikeka/R3.11.21-23_haruko_daihyo.pdf

◆ 2021-22 V. LEAGUE Division1 MEN (VC 長野) https://www.vleague.jp/form/a/26750

◆ 2021-22 V. LEAGUE Division1 WOMEN (ルートインホテルズ)

https://www.vleague.jp/form/a/27102 https://www.vleague.jp/form/a/27103

12月 スケジュール

12/4(土)~5(日)	2021-22 V.LEAGUE Division2 WOMEN (GSS 東京)	(軽井沢町)
12/5(日)	マルニシ CUP 第 39 回長野県小学生大会	(大町市)
12/9(木)	県障がい者スポーツ協会 2028 全国障害者スポーツ大会に向けての取り組みについて	(塩尻市)
12/10(金)~12(日) 12/18(土)~19(日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 ファイナルラウンド VC長野・長野ガロンズ・ルートインホテルズが出場	(群馬県)
12/11(土)~12(日)	第7回全日本9人制セカンドリーグ 女子	(上田市)
12/11(土)~12(日)	北信越連盟 組織団体運営会議	(富山県)
12/16(木)	県スポーツ協会 理事長・競技力向上専門委員合同会議(国体種目)	(長野市)
12/18(土)	北信越連盟 審判委員長会議	(富山県)
12/19(日)	JOCジュニアオリンピックカップ 第 35 回全国都道府県対抗中学大会 長野県中学選抜チーム 壮行会	(松本市)
12/19(日)	13 地区協会 ジュニアクラブチームに関わる情報交換会 (ジュニアクラブ創設促進プロジェクト主催)	(伊那市)
12/25(土)~28(火)	JOCジュニアオリンピックカップ 第 35 回全国都道府県対抗中学大会	(大阪府)